



伝統と今を大切に

堅川中だより

第4号

令和7年7月1日
墨田区立堅川中学校
発行 校長 稲垣 吉実

「何のために学ぶのか」

7月に入りました。今年の運動会も大変な暑さの中、チーム堅中の良さ大いに発揮し無事終了することが出来ました。特に3年生にとっては最後の運動会をハカやダンスで大いに盛り上げてくれました。この伝統をしっかり引き継ぎ、来年の運動会に向けて日々文武両道で頑張りましょう。

さて、今回は、「頭の良さは努力次第で変えられる」という話を書きましたが、今回は「何のために学ぶのか」について書きたいと思います。よくテレビの番組でタレントさんたちに分かりやすくニュースを解説している池上彰さんが書いた、「何のために学ぶのか」という本を読んだことがあります。あの池上さんも、中学3年生の時に高校受験の勉強に疲れ、母親に「なぜ勉強なんかなければならないのか」と聞いたことがあるそうです。すると母親の答えは「大人になれば分かる」でした。当然池上さんは、「答えになってない」と不満を覚えたそうですが、実際大人になってみると母親の言ったとおり「なぜ勉強する必要があるのか」分かったそうです。それは、日々の暮らしや仕事の上で、学生時代に学んだことが、どれだけ生きていることか。とりわけ中学の教科書を開いてみると「これだけの知識を習得していれば、大変な知識人だ」と痛感したそうです。それほど中学校の教科書はよくできているのです。

また、この本は、「これから生きるあなたたちへ」ということで、池上さんの経験をふまえ、1章勉強が好きじゃなくてもいい。2章どうして勉強しなくちゃいけないの。3章失敗・挫折から学ぶ。4章読書が好き。5章生きることは学び続けること。を通して、学ぶことの楽しさが書かれています。

今、皆さんの中にも、勉強が嫌いな生徒や勉強の成果が上げられず悩んでいる生徒もいるかと思えます。そして「勉強が自分の人生でどう役立つのか」と疑い、「嫌い」「面白くない」と言い訳をして、勉強から逃げてしまっていないですか。是非、今の学びによって自分の可能性が広がり、将来の大学進学時や就職時に自分の選択肢を広げ、大人になったときに勉強していて良かったと思えるように、頑張ってもらいたいと思います。

堅中生の活躍紹介

◎墨田区中学校総合体育大会（夏季大会）

○男子ソフトテニス部

団体戦準優勝 ⇒ **都大会出場！**

加藤 柊志、萩原 正崇、関谷 優斗、早川 優吾、阿部 航、三橋 凧紗、
林 駿太、棟方 琉斗

個人戦優勝（加藤、萩原）・個人戦準優勝（阿部、三橋） ⇒ **都大会出場！**

○女子ソフトテニス部

団体戦準優勝 ⇒ **都大会出場！**

斉藤 菜々海、竹田 美祐、高橋 茉愛、大下 空美、中野 美空、片桐 由菜、
松浦 歩來

○男子バドミントン部

団体戦優勝 ⇒ **ブロック大会出場！**

青山 大地、川島 瑛太、今井 結斗、根岸 諒、義村 蓮、朝倉 千晃、
永野 由都、加藤 陽人

ダブルス優勝（青山、今井）・準優勝（川島、根岸）⇒ **ブロック大会出場!**
3位（永野、加藤）

○女子バドミントン部

団体戦3位（安部 侑里、鶴飼 姫良、内田 凜咲、菅原 つむぎ、水村 愛梨、
工藤 心結、小代 尊依、森實 柚月）

シングルス2位（安部 侑里）⇒ **ブロック大会出場!**

◎美術部 第62回関東地区中学生海の絵画コンクール

金賞：平田 美晴

銀賞：市田 夏葉

銅賞：伊藤 綾那、柳川 円、小早川 真央、金子 瑠莉、吳 琳萱

特別賞：松丸 唯花、安齋 早紀

佳作：工藤 十和、斎藤 福成、毒嶋 らん、小原 あずさ、齋藤 美緒、
福井 茜梨、外川 勇二、米澤 美里

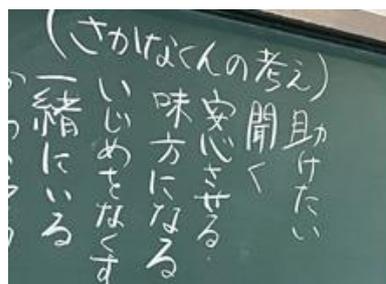
7月の予定

1	火	職場体験始(2)
2	水	職場体験(2) 給食試食会
3	木	職場体験終(2)
4	金	避難訓練
5	土	
6	日	
7	月	朝礼(表彰)
8	火	
9	水	英文コンテスト 定例・代表委員会
10	木	すみだいじめ防止の日
11	金	
12	土	土曜授業 道徳授業地区公開講座 学校公開日 野外体験保護者会(1) 修学旅行保護者会(2) 第1回数学検定
13	日	
14	月	生徒朝礼
15	火	三者面談始①
16	水	職員会議 NO 残業 DAY
17	木	三者面談②
18	金	夏季休業日前指導 安全指導 水泳指導終 職員研修
19	土	
20	日	
21	月	海の日 夏季休業日始
22	火	三者面談③ 夏季水泳教室始 夏季学習教室(全)
23	水	三者面談④ 夏季学習教室(全)
24	木	三者面談終⑤
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	夏季水泳教室終
29	火	
30	水	
31	木	

※ () 内の数字は学年や5組をあらわしています。 例 (5) : 5組

【1学年】

都の「ふれあい月間」と区の「すみだいじめ防止の日」を受けて、6月の道徳では、いじめを題材にした授業を実施しました。筆者・「さかなクン」が、中学生のときに、友人や先輩が無視される状況を目の当たりにし、魚の世界にも同じようにいじめがあることをつづっています。さかなクンの経験話を通して、いじめが起こらない社会や集団をつくるために重要なことは何かを考え、話し合いました。



また、21(土)には中学校に入って初めての運動会が行われ、この日に向けて、クラス一丸となって練習を重ねてきました。本番も仲間を応援する声かけや、それに応えようとする行動が随所で見られました。特に力を入れてきた学年種目では、練習の成果を発揮できたクラス、思うようにいかなかったクラスと様々でしたが、仲間との絆や団結できた喜び、悔しさ等、勝敗以上の学びを得ることができたことと思います。暑い中ご参観くださった保護者の皆様、ありがとうございました。

【2学年】

爽やかな青空の中、豎川中の運動会が行われました。当日2年生は、運動会に向けて積み重ねてきた努力を最大限発揮できました。一人ひとりが自分のできることに精一杯取り組み、個人の成長だけでなくクラス・学年の成長を感じることができたと思います。この行事を通してきっと、順位以上のものを手に入れたのではないのでしょうか。自分達が力を発揮できる場所があること、そして見本となる人や応援してくれる人が近くにいること。それらに感謝の気持ちをもって、これからの学校生活を送って欲しいと思います。当日まで支えてくださった保護者の皆様にも感謝申し上げます。生徒たちの団結や頑張りを十分に見ていただけたのではないかと思います。暑い日差しに負けない熱い声援をありがとうございました。



【3学年】

6月21日（土）、灼熱の暑さの中、運動会が実施されました。2ヶ月間の長い練習期間を経て、どのクラスも優勝を目指し、一生懸命頑張りました。1年ごとに進化してきた大縄跳び、精度が増したバトンパスなど3年間の成長を過程から間近で見ることができて至福の時でした。運動会後に多くの生徒から「運動会楽しかった」「もう一度、やりたい」「ハカ&チア踊ろう」などが聞こえ、思い出に残る運動会になったと感じています。本当にありがとうございました。



【5組】

全校生徒が気持ちを一つにして盛り上がった運動会が終わりました。3年生にとっては中学校生活最後の運動会となりました。3年生の作文を紹介します。

『最後の運動会の思い出』

最後の運動会の思い出は四つあります。一つ目は、大縄跳びです。れんしゅうのときは、とてもたいへんだったけど、本番は多く跳べたので、うれしかったし楽しかったです。二つ目は、3年生女子全員でダンスをおどったことです。女子はチアをおどったので、上手におどれて楽しかったです。三つ目は、3年生全員でダンスをおどったことです。全員三回おどったので少しつかれちゃったけど、楽しくおどれてうれしかったです。四つ目は全員リレーです。全員でリレーをやって、白組が勝ってうれしかったし、バトンパスが上手にできてよかったです。中学校三年間の運動会は、楽しい思い出ができて楽しかったです。



【食育】

「フードネオフォビア」という言葉があるそうです。自身にとって新しい食品や料理に対して恐怖感を抱く、本能的な感覚のことです。仮に野生で生活をしているなら、有害か無害かもわからず、味もわからないものは避けたい心理は納得できます。

豎川中では、小学校では出てこなかったような給食もあるそうです。親子丼の鶏肉が豚肉に代わった他人丼などは怖くないようですが、クコの実が乗った杏仁豆腐や、レーズンの乗った蒸しパンのマーラーカオなどは初めて見て怖がる生徒もいるようでした。

豎川中の給食では世間一般で目にすることの多い料理をなるべく取り入れるようになっています。給食で初めて見て怖がったとしても、それはきっと卒業後には役に立つと思っています。7月7日には水ようかんが出ます。例年怖がる生徒の多い料理ですが、日本の伝統的な、一般的な夏の甘味を、今のうちに慣れてほしいなと思っています。